



- 甲府やまなみクラブ会長主題：千里の道も一歩から  
～ 一歩ずつ着実な歩みを進めましょう ～ 米山 俊彦
- あずさ部長主題：めあて望み ピーター・マウントフォード (甲府)
- 東日本区理事主題：ワイズの方向を見極める 山田 公平 (宇都宮)
- アジア太平洋地域会長主題：大きなインパクトを起こそう ジョウン・ウオング (香港)
- 国際会長主題：太陽の輝きと笑顔 チャーミング・シェン(台湾)

甲府やまなみ  
ワイズメンズクラブ  
2024年 8月  
No.23

●今月の強調目標  
**戦略 2032**

●今月のことば  
「もともと地上には道はない。歩く人が多くなれば、それが道になるのだ。」  
魯迅 「故郷」より 仙洞田安宏 君 選

今月の例会案内 (第23回)

- あずさ部部長公式訪問
- 日時：2024年8月7日(水) 18:30～20:30
  - 会場：山梨YMCA
  - 司会：仙洞田安宏 君
  - ・開会点鐘 米山 俊彦 会長
  - ・ゲスト・ビジター紹介 司会者
  - ・ワイズソング 一同
  - ・会長あいさつ 米山 俊彦 会長
  - ・今月のことば 仙洞田 安宏 君
  - ・ワイズディナー
  - ・部長挨拶と卓話 「産業革命の足跡」  
あずさ部部長 ピーター・マウントフォード様
  - ・諸報告
  - ・ハッピーバースデー&アニバーサリー
  - ・YMCAの歌 一同
  - ・閉会点鐘 米山 俊彦 会長

Photo of monthly



7月3日(水)、キックオフ例会における会長引継ぎ  
左・藤原直前会長と右・米山新会長(山梨YMCAにて)

7月のデータ

会員数:11名  
例会出席:メンバー9名  
例会出席率:82%  
ニコニコ:6,289円

ハッピーバースデー

メン 藤原 一正 (8/23)

アニバーサリー

該当者なし

今月のことば 仙洞田安宏

中国の作家・魯迅の「故郷」の有名な文節です。「希望とは、もともとあるものともいえぬし、ないものともいえぬ。それは地上の道のようなものである。」の続きです。今号の4ページ「史料室の書棚から」で紹介した、森田恵三さんの自分史の巻末でも引用されていました。シチュエーションによって様々な解釈ができますが、ワイズに当てはめるなら、先人たちが歩いて切り開いて来たワイズという道も、仲間が多ければ太く(強く)なるということでしょう。今、その道が曲がり角に差し掛かっていると云えます。その道の行き先を照らすことが、共に歩く人を増やし、希望となるのではないのでしょうか。

## ●初めての会長引き継ぎ7月例会●

仙洞田安宏

2024-25年度のキックオフとなる7月例会が、7月3日(水)山梨YMCAにおいて開催されました。藤原一正直前会長の開会点鐘の後、やまなみクラブとしては初めての会長の引き継ぎ(バッジ交換)のセレモニーが行われました。1年10ヶ月会長を務めた藤原さんから、米山俊彦新会長へバトンが引き継がれました。

米山新会長の挨拶では、『初心者マークの会長だが、ワイズの広がり歴史の長さを思う時、やまなみクラブのこれからの歩みを「千里の道も一歩から」という主題を掲げた』と話されました。

ワイズディナーの弁当を済ませた後、定期総会に移りました。

第1部として、藤原直前会長が議長となり、前年度の事業報告、また遠藤恭範会計から決算報告がありました。

第2部は、米山新会長が議長となり、新年度の会長方針、事業計画、予算案を審議しました。行事予

定については詳細に説明があり、特に今年度は10月に「やまなしグローバルフェスタ」が、1月の新年合同例会では当番クラブになっていることから、協力の要請がありました。1部、2部とも滞りなく承認され、定期総会の部を閉じました。

諸報告では菅沼和也さんが今年度から休会になること、あずさ部評議会の案内等があり、米山会長の点鐘で閉会となりました。



出席者:米山・藤原・松本・遠藤(恭)・遠藤(成)・大澤・三井・福田・仙洞田

### 2024～2025 会長方針 米山 俊彦

#### 主題 「千里の道も一歩から」

～ 一歩ずつ着実な歩みを進めましょう ～

#### ①まずは、例会に参加しましょう。

“会合には出席第一”です。ワイズメンズ活動の第一歩として、例会でクラブ内の交流を深めましょう。

#### ②ワイズメンズ以外にも若い人達との協働活動や支援を積極的に行います。

・「やまなしグローバルフェスタ2024」の企画運営を山梨県立青洲高校の生徒やYMCAのユースメンバーと協働して行います。

・基金や公的な支援を活用するなど、様々な主体と連携して、青少年の活動を応援します。

#### ③ボランティア活動を通じて地域に貢献します。

・YMCAが行うボランティア活動(チャリティーラン、YMCAバザー等)に協力します。

・国際協会が進めるW4W(Week for Waste)活動をはじめ、地域のボランティア活動へ積極的に参加します。

#### ④ワイズメンズ活動の情報発信を行います。

・あらゆる機会を通して、ワイズメンズ活動の情報発信を行う中で、会員の増強に努めます。まず、会員数15名を目指しましょう。

### 7月例会ニコニコメッセージより

▼ワイズメンとして初心者マークの会長ですが、少しずつ学びながら一歩ずつ進んでいきたいと思えますので、よろしくお願いします。(米山俊彦)

▼米山新会長、1年間よろしくお願いします。

(藤原一正)

▼今月も元気に例会に参加でき感謝です。送り迎えをして下さる仙洞田さんに感謝です。(大澤祥子)

▼欠席が多くすみません。できるだけ出席できるようがんばります。(三井雅之)

▼米山会長の就任祝い!

(遠藤成人)

▼藤原さんお疲れ様でした。あずさ部ユース事業主査としての活躍を期待しています。米山さん、よろしくお祈りします。(仙洞田安宏)

### 役員会報告

▼日時:7月24日(水) 18:30～20:00

▼場所:山梨YMCA

▼出席者:米山・藤原・松本・仙洞田

▼主な協議

今後の例会プログラムについて

・8月:ピーター部長の卓話「産業革命の足跡」

・9月:米山会長の卓話「北口のまちづくりについて」

・10月:グローバルフェスタ終了後、懇親会

・その他:今後の例会場について

## ▼ あずさ部信濃の国評議会 ▼

米山 俊彦

猛暑が続く中、7月27日(土)に松本市の「あがたの森公民館」で開催された今年度第1回の「信濃の国評議会」へ参加をしてきました。やまなみクラブからは、私とユース事業主査の藤原さんが参加しました。

歓迎の挨拶では、ホストクラブである松本クラブの赤羽会長から北杜夫などの著名人を輩出した会場の旧制松本高等学校の歴史や「信濃の国評議会」と命名した理由の説明がありました。

「信濃の国」は、長野県の県歌であり、かつては分かれていた長野市を中心とする「長野県」と松本市を中心とする「筑摩県」を統一する際に県民の心を一つにした長野県民の“心の歌”だそうです。

議案審議に入り、第一号議案、第二号議案の2023-2024年度会計報告及び監査報告は、滞りなく承認されましたが、第三号議案の次次期部長クラブ推薦の件については、該当クラブである松本クラブから、会員の減少や高齢化の課題がある事からもう少し時間をかけて検討をしたいとの申し出があり、次回の評議会に改めて提案を行う事になりました。

議案審議の後に大和田浩二東日本区書記(松本クラブ)から東日本区役員会報告がありました。東日本区全体としても会員が減少傾向にある中で、財政的に厳しい状況が続いていて、ユースアクションを進



めていくためにも、サポートファンドの募集を行う事となり、既にファンドの申し出が来ている旨の報告がありました。

続いて、事業主査並びにクラブ会長から今年度の活動方針の説明がありました。会員の減少や高齢化などの課題はありますが、それぞれの事業セクション、各クラブにおいて、様々な工夫や努力をしながら今年度のクラブ活動を進めていこうという意気込みが感じられた活動方針でした。

その後の懇親会では、「信濃の国」にまつわる長野県統一の歴史が愉快な寸劇の形で紹介され、終わりに参加者全員で「信濃の国」を合唱しました。

アピールでは、「東京八王子クラブ設立30周年記念例会」や「第20回富士山例会」、10月に石和で開催される部大会の案内などが行われ、最高気温35度となった松本市内以上に熱く盛り上がった懇親会となりました。最後に、地元のソウルフード(?)である「アガタバーカーリーの牛乳パン」と「TSURUYAの心太」をお土産にいただいて、帰路につきました。

## ユースと学んだ史料室勉強会

仙洞田安宏

山梨YMCAの史料展示室運営委員会(松村禎夫委員長・甲府21)では、貴重な史料の活用の一環として、山梨Yのスタッフやユースリーダーを対象に勉強会を開催することになりました。その第1回目として、7月17日(水)山梨YMCAにおいて、「山梨ハイY(高校YMCA)運動の原動力だったワークキャンプの盛衰」と題して岩間孝吉様(右写真・山梨YMCA常議員・甲府一高ハイY卒業生)から話題が提供されました。

このワークキャンプは1950年から始まり1976年まで毎年行われました。最初は北杜市長坂町の「青雲開拓団(満蒙開拓団の帰国)」で、5回目(1954年)からは須玉町増富の「天使園(戦災孤児の養護施設)」をメインに、農作業や開墾、構内整備などの作業を行ったそうです。最盛期には高校生、リーダーを含め170

人も参加者があり、如何にこのワークキャンプの存在が大きかったかを表しています。

岩間さんは高校2年の時にハイYに入り、1957年からワークキャンプに参加したそうです。天使園での経験は岩間さんのみならず青年期の参加者たちに少なからぬ影響を与えたことが伺えるお話でした。参加したユースからも質問や感想が述べられ、実りのある勉強会でした。



参加者:岩間、ワイズ:松村・後藤・寺田(甲府21)・大和田(松本)・仙洞田、山梨Y:中田・福田・平賀・菊池、ユース:渡辺・青柳・立岡・高松、計14人

## 温故知新～史料室の書棚から

仙洞田安宏

史料室には、ワイズメンの先達の伝記や自分史と言った書籍も納められています。その中から3冊紹介します。

### ▼「ワイズメン・竹内敏朗伝記」

国際会長も務められた故竹内敏朗さん(熱海グローリー)の伝記を、富士山部の後輩ワイズで構成する出版委員会が編纂し、2014年4月に出版しました。国際的に活躍された竹内さんらしい話題が網羅されています。また竹内さんは、長崎(1948)、熱海(1963)、カルガリー北(カナダ:1971)、熱海グローリー(1984)と4つのクラブのチャーターメンバーでもあり、新クラブ設立にも貢献されました。

### ▼「岡本尚男の軌跡」

2020年5月に亡くなられた岡本尚男さん(京都キャピタル・40代日本区理事)の人生の軌跡を夫人の都さんが纏め翌年発行しました。

### ▼「われ 他の中にこそ生きてあれ」

—森田恵三 人生の道しるべ 第3巻—

先般の東日本区大会の晩餐会で、乾杯の発声をした森田恵三さん(京都ウエスト・38代日本区理事)の自分史です。米寿の記念として2022年に刊行しました。第3巻とあるように、これまでに節目の時に2度発行されてきました。

岡本さん、森田さんともワイズは勿論、仕事や様々な組織・団体で活躍されて来ましたので、それらで発表した文章をはじめ、ゆかりのある方々の寄稿、思い出の写真などで構成されています。



山梨 YMCA 総主事  
中田 純子

## 「つながりによる喜びと希望を」

ワイズメンの皆様、7月のキックオフ例会の開催、おめでとうございます。ご招待いただいたクラブの皆様と豊かな時間を共有できましたこと、心より感謝申し上げます。

昨年度は、皆様のご協力のおかげで、YMCAを利用している子どもたちはバザーやしめ縄作り、お正月遊び体験、チャリティーラン、フクロウキャンプなど、多くの貴重な体験をすることができました。特に恒例行事においては、保護者の皆様から期待と喜びの声をいただいています。また、YMCAのキャンプ場「銀河鉄道の森」でのデイワークでは、ユースの応援隊として食事の準備や竹細工の指導に尽力していただきました。これらの活動を通じて、ワイズメンの皆様の温かい支援は、子どもたちにとって大きな励みとなり、自己実現の場を提供しています。

今年度も、皆様との「つながり」を大切にし、こどもファーストをテーマに掲げ、子どもたちが自分のやりたいことを見つけられるよう支援し、子どもたち同士の絆を深めると共に、ワイズメンや地域との連携を一層強化していきたいと考えています。YMCAが子どもたちにとって居心地の良い居場所となり、彼らが自分の力を信じて成長できる環境を整えていきたいと思えます。皆様の豊富な経験や知識を活かし、子どもたちに多くのことを教えていただけることを期待しています。

また、私たち職員にとっても皆様の支えは大きな力となっています。皆様と共に活動することで、私たちも多くの学びや発見を得ています。新年度も、皆様と力を合わせて子どもたちやユースの成長を見守り、地域に根差した山梨YMCAを支えていただけますようお願いいたします。

この一年間が皆様にとって豊かな活動の年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

### これからの予定

- ✓8月15日(火) 前期区費納期
- ✓8月8日～11日 国際大会(タイ・チェンマイ)
- ✓8月23日(金) グローバル・F実行委員会(Zoom)
- ✓9月 4日(水) 9月例会(山梨YMCA)
- ✓9月6日～8日 ユースボランティア・リーダーズフォーラム(東京Y山中湖センター)
- ✓10月5日(土) やまなしグローバルフェスタ2024  
甲府駅北口よつちやばれ広場
- ✓ // 10月例会(懇親会)